

月報「ぶどうの木」

2022年6月号

「祈禱会の恵み」

長岡秀彦

祈禱会は、信徒にとって重要な恵みの時であることは言うまでもありません。しかし、私にとっては、地理的な制約もあり、平日の道路の混み具合がなかなか予測できない事や、車で往復3~4時間かかるであろう事を考えると殆んど参加出来ていませんでした。

コロナの感染が拡大して、対面での集会が難しくなって来て、オンライン（Zoom）を利用することになってからは、自宅にいて即時に参加出来るようになった事が大きな恵みになっています。

私が参加し始めたのは二年前の秋頃からと記憶していますが、創世記とマルコによる福音書とを隔週に学び、最近どちらも学び終えて、現在は、出エジプト記とヘブル人への手紙の学びに移っています。ある時、聖書の学びの我々の態度について話題になった事があり、たまたま最近私が読んでいた本の中で、内村鑑三の「聖書之研究」第一号の巻頭の言葉を紹介されていて、その事を紹介したら、その情報を知りたいとの要望が多かったので、その部分をコピーして右に紹介します。

著者は、関東学院大学教授の山根雅信という方で、「クラークと内村鑑三の教育」という本の中の13ページで紹介されています。（日新出版）

内村鑑三は、聖書の中の歴史には、神の御旨を我々にしっかりと伝えようとしているので、我々はそれを十分に学び取らなければならないと述べているのです。

「聖書之研究」第一号の巻頭に内村鑑三は次のように記している。

〔5〕 聖書は、過去の記録なれども実は今日の書なり、死せる如くに見ゆれども実は最も生ける書なり。これに歴史あり、しかれどこれ過去の出来事を伝へんが為にあらずして人類進歩の歴史における神の直接の行為を示さんがためなり。これに科学あり、しかれどもこれ自然の配列進化を教へんがためにあらずして天と地とその中に存する凡てのものに現はれたる神の聖旨を伝へんがためなり。その美文は文のための文にあらずして神の義と愛とを伝へんがための文なり。ゆえに神の在さん限りは聖書は人類の有する最も貴重なる書として存するなり。聖書は神に関する唯一の教科書なり。これを識るは歴史と文化学との源泉に達することなり。

5月28日一芸会の模様



伝統芸能が受け継がれました！

6月役員会決定事項

- ・5月度の経常会計・基金会計・建造物会計が承認された。
- ・6月25日の教団総会に傍聴人として秋田政信兄が出席する。教団から交通費は5,000円を除く分が支給されるので、当教会で秋田師の分と2名分計10,000円を負担する。
- ・今後の教会の課題を確認した。1, 教会墓地の取得について 2, 教会案内パンフレット作製について 3, 役員の交代について 4, 宗教法人格の取得について 5, 十字架の増設について 6, 教会を地域に開かれた場所とすることについて それぞれ目標とする期限を定めて取り組んでいくこととした。

5月度の会計報告

経常会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

月定献金	238,000	牧師謝儀	145,000
礼拝献金	64,899	伝道費	38,300
C S 献金	2,200	礼典費	3,880
特別感謝献金	10,000	C S 補助	2,200
祝祭献金	0	周年記念費	0
雑収入	0	事務消耗費	4,634
<月定献金> 秋田家、池田(博)家、池田(真)家、小倉姉、大槻姉、岸田姉、 佐藤姉、長岡家、西村姉、久田家、三石家、山田家		水道光熱費	12,555
<感謝献金> 三石姉、新井ピアノ教室		電話代	8,291
		什器備品費	2,043
		教団負担金	0
		謝恩金負担金	0
		対外献金	5,000
		慶弔・接待費	0
		研修費	0
		基金繰入金	0
		建造物会計繰入金	10,000
収入小計	315,099	支出小計	231,903
前月繰越金	429,921	次月繰越金	513,117
合計	745,020	合計	745,020

教会基金会計 残高 4,720,000円

報告: 山田正博

教会建造物会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

教団信徒会援助金	200,000	外壁・屋根塗装工事代金	1,450,000
教会基金会計繰入	280,000	振り込み手数料	440
経常会計繰入	10,000		
利息収入	0		
収入小計	490,000	支出合計	1,450,440
前月繰越金	979,211	次月繰越金	18,771
合計	1,469,211	合計	1,469,211

報告: 秋田郁美